

## 編集後記

今号では香港の日本語教育を長年支えてくださった石秋炯先生への追悼文集を掲載致しました。あらためて石秋炯先生の温かい人柄や多大な貢献を知ることができたことを、追悼文を寄稿してくださった先生方に感謝申し上げます。

本編では論文3本、研究ノート5本、報告5本を掲載することができました。日本学刊は日本に関係する学者、教育者、実践者、学生のプラットフォームを目指しております。日本語・英語・中国語の3言語での投稿を広く受け入れており、大学院で研究に従事する学生さんからの投稿も奨励しております。

本年10月から11月にかけては、在香港日本国総領事館が「日本秋祭 in 香港—魅力再発見—」を開催する予定であり、日本に関係したイベントが数多く実施されるようです。また香港公開大学と香港日本語教育研究会の共催で11月19日から20日にかけて第11回国際日本語教育・日本研究シンポジウムも行われます。国際シンポジウムは1994年に第1回が香港城市大学で開催されて以来、香港大学、香港中文大学、香港理工大学などと場所を移し、返還をまたぎ20年以上に渡って香港の日本語教育と日本研究の学生や研究者が集まる場となっています。2014年は香港大学專業進修学院、今年は香港公開大学と、社会人教育に力を入れてきた教育機関を舞台にすることによって、社会人学習者に支えられてきた香港の日本語教育にふさわしいシンポジウムとなるでしょう。

最後にこの場を借りて貴重な原稿を送って下さった投稿者の皆様、研究の合間を縫って審査して下さった外部査読者の先生方、原稿の誤字脱字を丁寧に指摘して下さった編集委員の皆様には深く感謝申し上げます。日本学刊を毎年度刊行することができるのは皆様が貴重なお時間を割いてご協力してくださっているおかげです。日本学刊19号が本誌を手にとって下さった皆様にとって有意義なものとなるよう編集者一同、心から願っております。香港日本語教育研究会シャノン・ウォン氏は厳しい出版スケジュールの中、レイアウトや査読の連絡を担当してくれました。ウォン氏のおかげで無事出版に至ったことを感謝と共にここに記します。

編集委員長 青山 玲二郎

2016年5月吉日